

Press Release:2013.01.15

ROOTS : 櫻澤 克 展

SAKURAZAWA YOSHIMASA CERAMIC EXHIBITION

2013年02月05日[火] — 02月10日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【画像01】
DM使用イメージ
「京都同時代学生陶芸展」展示風景(元・立誠小学校 / 京都)

ご案内

ギャラリー・パルクでは、2013年2月5日[火]から10日[日]まで、「ROOTS:櫻澤 克 展」を開催いたします。

本展は現在、京都造形芸術大学 美術工芸学科 陶芸コース4回生に在籍する櫻澤克征(さくらざわ・よしまさ / 東京・1989~)による個展として、器や蓋物を中心にこれまでにつくりためた約200点の作品を展示するとともに、陶芸をはじめてからこれまでの自身のルーツを辿る展覧会です。

櫻澤はこれまでに器・水差し・茶入れ・香合などの茶道具を思わせるものから、花器や皿・鉢・壺、オブジェまで、陶による幅広い作品を手と土のおもむくままに制作しています。とりわけ近年では「蓋物」を中心に、茶道具ともオブジェとも呼べる作品を精力的に制作しており、それらはいわゆる「器・容れ物」として作陶や釉薬の美しさを示すとともに、趣向を凝らされたユーモラスな「オブジェ」としての造形の楽しさをも伝えます。

「自分が生まれてから今に至るまでの自分自身を探り、他者とのコミュニケーションの中で陶芸の楽しさや、陶芸の美観を自他ともに再発見できれば」と言うように、その作品には櫻澤の興味対象(素朴なもの、原始的なもの、建築的なもの、幾何学的なもの)から発想を得たものや、あるいは日常生活の中での小さな発見が造形として集約されているかのようです。また、それらを現在、<stone>(石ころの蓋物)、<the zoo>(動物の蓋物)、<town>(茶器としての小さい蓋物)、<city>(幾何学的な建築的なオブジェなど)の4つに大別しながらも、それぞれにユニークな試行錯誤を重ねています。

櫻澤の新作・旧作を取り混ぜたおよそ200点の作品を展示する本展では、その柔軟で変容性を持った作品の魅力に触れていただくとともに、陶の持つ自由な表現の魅力をも感じていただけないでしょうか。

Press Release:2013.01.15

ROOTS : 櫻澤 克 展

SAKURAZAWA YOSHIMASA CERAMIC EXHIBITION

2013年02月05日[火] — 02月10日[日] 11:00~19:00 ※月曜休廊・最終日18:00まで

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[\[info@galleryparc.com\]](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 ROOTS:櫻澤 克 展

出品作家 櫻澤 克 征(さくらざわ・よしまさ)

会 期 2013年02月05日(火) — 02月10日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊

料 金 無料

展示内容 【陶】

陶による茶入れなどの「蓋もの」を中心に、これまでつくりためた約200点もの作品を会場全体を用いて展示。
茶器からオブジェまでの幅広い作品をお楽しみいただけます。

会 場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三條ありもとビル

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

ア ク セ ス

阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

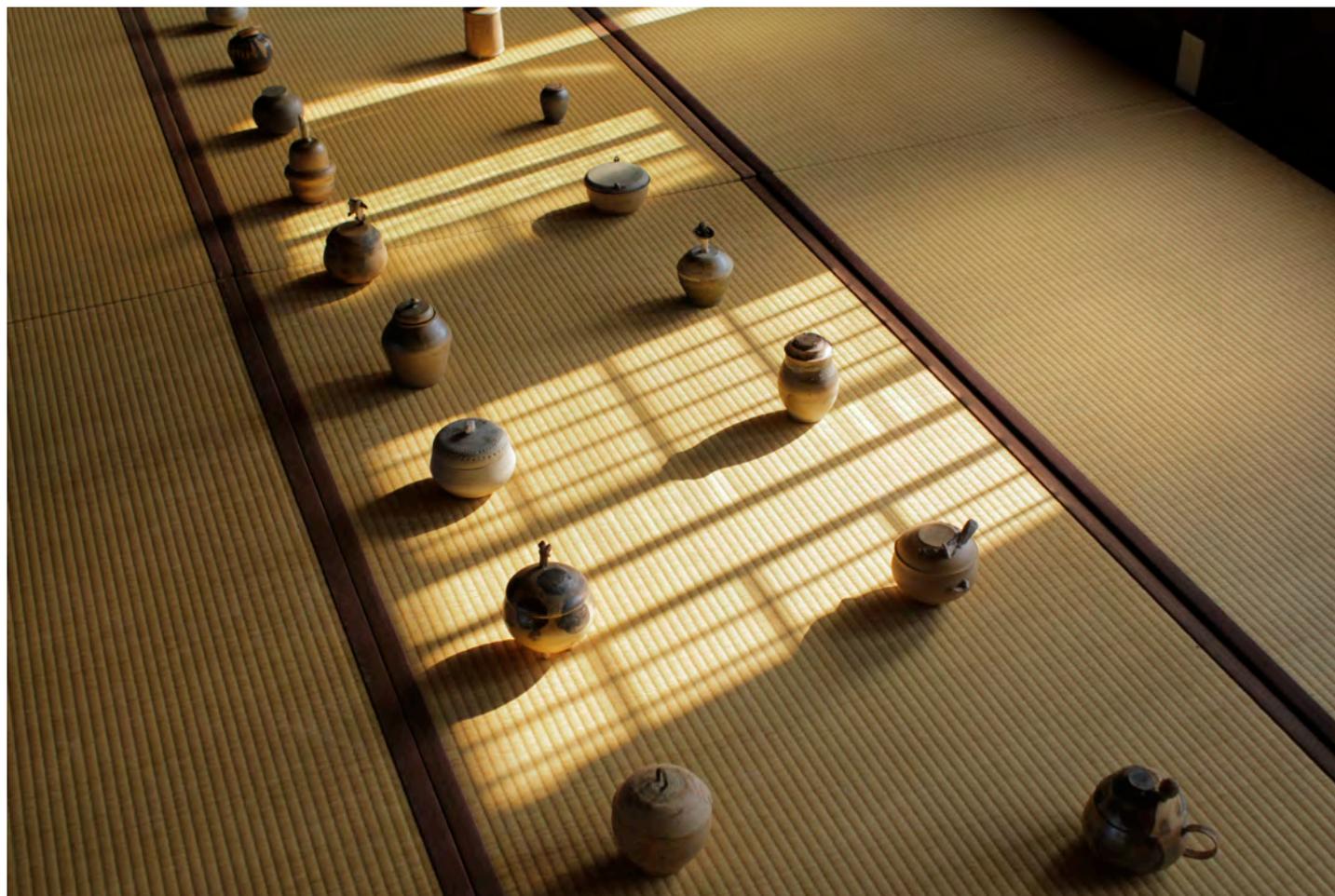
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ

Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三條ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com



【画像02】

Press Release:2013.01.15

ROOTS : 櫻澤 克 展

SAKURAZAWA YOSHIMASA CERAMIC EXHIBITION

2013年02月05日[火] — 02月10日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



上【画像03】 下【画像04】
<town>(茶器としての小さい蓋物)として分類されている作品例



【画像05】
<the zoo>(動物の蓋物)として分類されている作品例

【作家略歴】

櫻澤 克 征 Sakurazawa Yoshimasa

1989.8 東京都生まれ

2013.3 京都造形芸術大学 美術工芸学科 陶芸コース卒業見込

おもな展覧会

- 2012 京都同時代学生陶芸展 (元・立誠小学校 / 京都)
 - どんとこい展 (Gallery h2o / 京都)
 - 第107回 京料理展示会 (みやこめっせ / 京都)
- 2011 京都同時代学生陶芸展 (元・立誠小学校 / 京都)
 - 男展 (むろまちアートコート / 京都)
 - 井ちゃんさわぎ展 (Gallery h2o / 京都)
 - 018 - おはこ展 - (Gallery Park / 京都)
- 2010 風と土の交響 in琵琶湖 高島 (交流館 / 滋賀)
 - セックスカート展 (ART ZONE / 京都)
 - 始発展 (0000 Gallery / 京都)
 - 臨生のアート (ギャルリオーブ / 京都)

【statement】

まちを歩くと、二度見することがよくあります。

そこをよく見ると、昆虫がいたり、綺麗な石ころがあったり、キノコが自生していたり。

美しいものは日常に満ちあふれています。

日頃からセンサーを巡らし、察知することで自分自身の美しいものへのモノサシの鮮度を保っているように感じます。

そんなものを作りたいもんです。

直感でビビっとくるものを。

生活にそういったものが溶け込んでいれば、毎日が痺れるように楽しく、彩り豊かになるんじゃないでしょうか。

Press Release:2013.01.15

ROOTS : 櫻澤 克 展

SAKURAZAWA YOSHIMASA CERAMIC EXHIBITION

2013年02月05日[火] — 02月10日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【画像06】
DM使用イメージ
<town> (茶器としての小さい蓋物)として分類されている作品例



【画像07】
<stone> (石ころの蓋物)として分類されている作品例



【画像08】
<the zoo> (動物の蓋物)として分類されている作品例

【展覧会について】

陶芸を始めて四年が経とうとしています。

陶芸に触れるまでは絵画を学び、いつかは立体物をつくってやろうと思っていましたが、何故陶芸を選んだかは今でも確かではありません。

自分のルーツは何処なのでしょう。

建築的なものや、幾何学的なもの、原始的なもの、素朴なもの、数えると案外少ないものです。

粘土というものは自由自在に変化します。というよりも、変化するしかないものだと思います。

それは、髪の毛が伸びるように徐々にあったり、はたまた髪を切るようにバサリと変わります。

そのなかでも残るものがあり、そこには自分の自分たる何かが顕在しているのではないのでしょうか。

日々のなかで感動することは絶え間なくやってきます。好きなものはどんどん増えていき、同時に自分のルーツは何処から来たのか瞑想します。

本展覧会は、自分が生まれてから今に至るまでの自分自身を探る機会であるとともに、他者とのコミュニケーションの中で陶芸の楽しさや、陶芸の美観を自他ともに再発見できればと思います。



【画像09】
<city> (幾何学的な建築的なオブジェなど)として分類されている作品例